



2021-22年度RI会長

シェカール・メーター

第2640地区ガバナー：豊岡 敬

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：佐田 一三

幹事：玉置 佳範



新仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

<http://tanabe-east-rc.com/>E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビクターフィー ¥2,000

○会長報告

会長 佐田 一三



■堺南RCより「クラブ解散のご報告」が届きました。2022年6月末日をもって解散となります。1961年4月の発足で、今期が創立60周年の節目だそうです。

■本日のプログラムは、会員卓話として、新入会員の平林圭介君です。後ほど、宜しくお願ひ致します。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催いたします。理事・役員の方は出席頂きますようお願い致します。

■本日のお弁当は「和づち」です。ご賞味ください。

○幹事報告

幹事 玉置佳範



■回覧

◎「英語版ロータリアン6月号」

◎社会福祉法人 やおき福祉会・やおき後援会より「やおきジャーナル 95号」

◎田辺・弁慶映画祭実行委員会より

「『第16回 田辺・弁慶映画祭』へのご協賛・ご後援について（お願い）」

◎田辺保健署長より

「令和4年度『ダメ。ゼッタイ。』普及運動 6・26 ヤング街頭キャンペーンの実施について（依頼）日時：6月25日（土）」

◎豊岡ガバナー事務所より

「ガバナー月信6月号」

◎森本ガバナーエレクト事務所より

「2022-2023年度のガバナー公式訪問について」「クラブ協議会報告書」

■例会日時変更（週報と一緒に回覧しています）

◎白浜RC

6月17日（金）→ 休会

◎海南東RC

6月27日（月）→ 6月27日（月）19:00～

場所：「美登利」海南市船尾185

<今期最終例会>

◎和歌山RC

6月28日（火）→ 6月28日（火）18:00～

場所：ダイワロイネットホテル和歌山4F

<最終夜間例会>

○本日の唱歌

「あゝ田辺東ロータリー」

唱歌 谷中順次郎君



○出席報告

会員数 37名 義務免除 3名 本日の欠席者 4名

本日の出席率 88.24%

〇にここに報告 (敬称略)

◇新入会員卓話 平林 圭介君

よろしくお願い致します。

愛須勝章、上原俊宏、岡本博、坂本正人、畔田実、佐田一三、武田静也、竹中悟、竹村英一、谷中順次郎、谷本司、玉置佳範、中嶋伸和、野村憲司、橋本隆、平林圭介、丸山博之、森本修至、山本亘、吉田和枝、渡口真二

◇うなぎいつもありがとうございます。

湯川和洋

◇白内障手術、無事終わりました。 畑地誠

◇本人誕生日

ていねんの年齢になってますが、まだまだ現役です。

片井貢

◇お花いただきます。

前田吉彦

☆今週も沢山のニコニコありがとうございました。

〇本日のプログラム

☆ 新入会員卓話

住友生命保険相互会社
和歌山支社 紀南営業部
平林圭介君



みなさま、こんにちは。4月より豊田の後任として着任いたしました。あらためましてどうぞよろしくお願い致します。

1977年(昭和52年)8月11日生まれの44歳。松本城や上高地で有名な長野県松本市の出身です。和歌山がこんなに山深いとはこちらに来るまで存じあげませんでした。山が見える毎日はなんだか落ち着きます。加えてこんなに海の近くに住むのは初めての経験でとても嬉しいです。

学生時代はサッカーやスキー、社会人になってからはゴルフ、趣味と言えるほどではないかもしれませんが、スポーツ全般、やるのも見るのも好きな方だと思います。

自宅は埼玉県の武蔵浦和にあり、妻と小学6年生の息子が1人の3人家族です。武蔵浦和はあまり聞きなれない街だと思いますが、浦和レッズのおひぎ元の浦和の隣、浦和までは徒歩10分という場所になります。ポピー・オロゴンさんが近くの公園を散歩しているとかいないとか、そういった都市伝説?がある街です。

今回は初めての単身赴任であり、2カ月がたちましたが、やはりまだ寂しさは否めません。ただ、時間はありますので、久しぶりに本を読むようになりました。最近読んだ本で面白かった本をご紹介します。

「本能寺の変431年目の真実」です。

みなさまご存じでしょうか。初版は2013年ですので新しい本ではありませんが、二年前に大河ドラマの「麒麟がくる」が放映された際にも少し話題になったようですので、お読みになられた方もいらっしゃるかもしれません。

明智憲三郎著 文芸社文庫



歴史にあまりなじみのない方も、織田信長が最期を迎えた「本能寺の変」についてはご存じかと思います。この本のテーマは、なぜ明智光秀は織田信長を討ったのか。一般的には信長につらく当たられていた、ですとか、信長の非情さを危惧していた、という説が多く聞かれますが、どう考えても一世一代のギャンブルです。失敗すれば本人はもちろん、一族郎党全てがどうなるのか、わかっていたはずですが。そして、仮に成功したとしても、豊臣秀吉や柴田勝家といった残る家臣団との戦いが見えていた。それほどまでにトップに立ちたかったのか。現代企業であれば織田ホールディングスの専務、少なくとも筆頭常務位の立場にあった光秀が、発作的に起こしたとは考えにくい事件であり、日本史最大のミステリーと言っても過言ではありません。

この本の著者は、まさに当事者である明智光秀の末裔、明智憲三郎さんという方になります。当時の文献やお天気をはじめ、家康の行動、偶然とは思えない秀吉の動き等々、本能寺以後の勝者が記した「本能寺の変」以外の情報から、事実をつみ重ねて導き出される真相と真の黒幕について書かれた本になります。歴史にたられればありません。が、もし、本能寺の変がなかったら、あるいは明智光秀が山崎で勝っていたら、日本は大きく違った歴史を歩んだのかと思うと、少しワクワクしませんか。先ほど申し上げた「麒麟がくる」では、光秀が生き延びているかのようなラストでしたが、真実は果たして…。

話は変わりますが、大河ドラマと言え、今年は鎌倉殿の13人がこれから後半に向かうところです。大河ドラマについて私は、武将ものを中心に、選り好みしながら主人公が気に入るときだけ見ているといったにわかファンではありますが、弁慶に所縁の深い田辺に着任したのも何かの縁なのかなと思い、鎌倉殿の13人は、毎週欠かさず、ワクワクしながら見ております。弁慶については、先日、残念ながら最後の出番が終わってしまいましたが、いい味を出してくれておりました。引き続き、ピール片手に楽しみたいと思います。

ちなみに皆さま歴代大河で視聴率No1.の作品はご存じでしょうか。

渡辺謙さん主演、といえば、お分かりになる方も多いのではないのでしょうか。1987年の「独眼竜政宗」、平均視聴率は驚異の39.7%。最高視聴率は47.8%ということですので、視聴率1%で100万人が見ていると言われておりますので、4780万人がライブで見ていた計算になります。皆さまの中でもご覧になられていた方も多いのではないのでしょうか。ちなみに私は当時10歳、印象的なテーマソングと、幼心に「ジェームス三木」というのは日本人なんだろうか、と思った記憶があります。

なお、歴代2位は中井貴一さんの「武田信玄」、3位は大原麗子さんの「春日局」だそうです。87年の政宗、88年の信玄、89年の春日局と、この辺りが大河の全盛期だったようですね。

<大河ドラマ期間平均視聴率>ビデオリサーチ社調べ

1987年度	独眼竜政宗	39.7
1988年度	武田信玄	39.2
1989年度	春日局	32.4
1964年度	赤穂浪士	31.9
1981年度	おんな太閤記	31.8
1983年度	徳川家康	31.2
1965年度	太閤記	31.2
1996年度	秀吉	30.5
1986年度	いのち	29.3
1995年度	八代将軍吉宗	26.4

鎌倉殿に話を戻しますと、ドラマでは先週、鎌倉幕府が成立しましたが、つい先日、小学6年生の息子と話していてショッキングな事実が判明しました。「いい国つくろう鎌倉幕府」、受験生ならイロハのイ、だと思っていた1192年の語呂合わせはもはや過去の話、現在の定説は「いい箱作ろう」で1185年だそうです。ご存じでしたか？歴史は新しい事実と共に進化しているようです。

本日は、取りとめのないお話で大変恐縮でした。本業の保険については、豊田も以前お話しさせていただいたと伺っておりますので、私からは省略させていただきますが、保険も日々進化を続けており、最近は「リスクへの備え」だけでなく、「リスクを減らす」という新しい機能をもとに、「健康」というキーワードと「ビッグデータ」の活用が今後のテーマとなってきました。「健康長寿日本一わかやま」に微力ながら貢献できるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



○今日のお弁当

本日のお弁当は「和づち」さんの鰻弁当でした。美味しく頂きました。



○次回プログラム

- ◎6月15日(水) 田辺税務署長
- ◎6月22日(水) 委員会活動報告
- ◎6月29日(水) 最終例会(2021-2022年度) 挨拶
- ◎7月 6日(水) 初例会(2022-2023年度) 挨拶